

入試ガイド 2018

TOPICS

2018年4月、愛知大学はさらに充実します。

◆学部改組

国際コミュニケーション学部 国際教養学科

▶比較文化学科から国際教養学科に名称変更。

文学部 心理学科

▶心理学科を設置構想中。

地域政策学部 地域政策学科

▶食農環境コースを新設。

◆入試制度

国際コミュニケーション学部 英語学科

▶英語学科特別入試を新たに導入。

短期大学部 ライフデザイン総合学科

▶短期大学部前期入試B、
短期大学部センタープラス方式入試を実施。

設置学部

名古屋キャンパス (名古屋地区ささしまライブ24)

■法学部 法学科 ■経済学部 経済学科 ■経営学部 経営学科/会計ファイナンス学科
 ■現代中国学部 現代中国学科 ■国際コミュニケーション学部 英語学科/国際教養学科
※2018年4月、比較文化学科から名称変更

豊橋キャンパス (愛知県豊橋市)

■文学部 心理学科/人文社会学科 現代文化/社会学/歴史・地理学/日本語日本文学/欧米言語文化
※2018年4月、新設(設置構想中)
 ■地域政策学部 地域政策学科 公共政策/地域産業/まちづくり/地域文化/健康・スポーツ/食農環境
※2018年4月、新設
 ■短期大学部 ライフデザイン総合学科

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神としており、これに基づいた人材を社会に送り出すことを使命としています。また、建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生の選抜を目標としています。

愛知大学には多様な専門教育を行う学部がありますが、いずれの学部に入学者にしてもカリキュラムは高等学校で身につけた幅広い分野にわたる基礎学力を前提としています。基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課す一般入試に重点をおいた入学試験を実施しています。

なお、推薦入試についても、一定水準以上の学業成績を求めるとともに、高等教育を受けるために必要な基礎学力を把握するための学科試験(英語・国語)を課しています。また、学力以外の面においても、優れた能力や豊かな経験に基づく各学部専門教育への強い興味や関心、勉学意欲を持つ者を求めています。

一般入試募集定員 1,375名 入学定員の68.9%
 一般入試は、3教科以上を課します。推薦入試は、学科試験を課します。

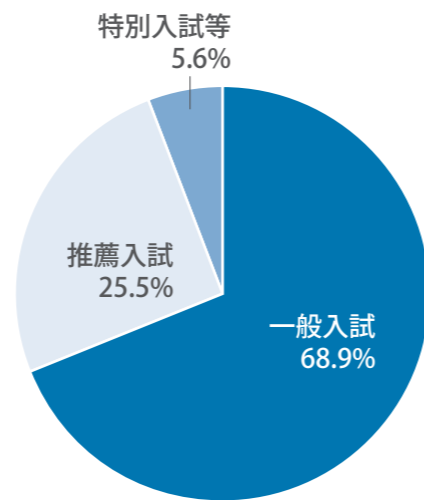
2018年度 入学定員・一般入試募集定員

学部	学科	入学定員	一般入試募集定員
法学部	法学科	315	235
経済学部	経済学科	330	240
経営学部	経営学科	250	172
	会計ファイナンス学科	125	65
現代中国学部	現代中国学科	180	95
国際コミュニケーション学部	英語学科	115	73
	国際教養学科	115	75
文学部	心理学科	55	261※
	人文社会学科	290	
地域政策学部	地域政策学科	220	159
学部合計		1,995	1,375

※文学部の募集定員は学科・コース別入試及び学部全体入試を合算した数値で示します。

短期大学部	ライフデザイン総合学科	100	65
-------	-------------	-----	----

学部募集定員割合



TOPICS 2018年4月、愛知大学はさらに充実します。

①国際コミュニケーション学部 比較文化学科から国際教養学科へ

★比較文化学科を国際教養学科に名称変更し、教育研究目的を次のとおり定めます。

- 異文化理解を通して国際コミュニケーション能力を修得。
- 自国文化についての知見を持ちながら、国際的な場で活躍できる人材となる。
- 英語をはじめとする諸外国語の学習に重点を置く。
- 欧米、アジア、日本を対象に、文化や社会に関する知識の修得。
- 国際フィールドワークを実施して具体的な交流を実践。

②文学部心理学科を新設(設置構想中)

豊富な実験・実践を通して人間行動の不思議に迫る。

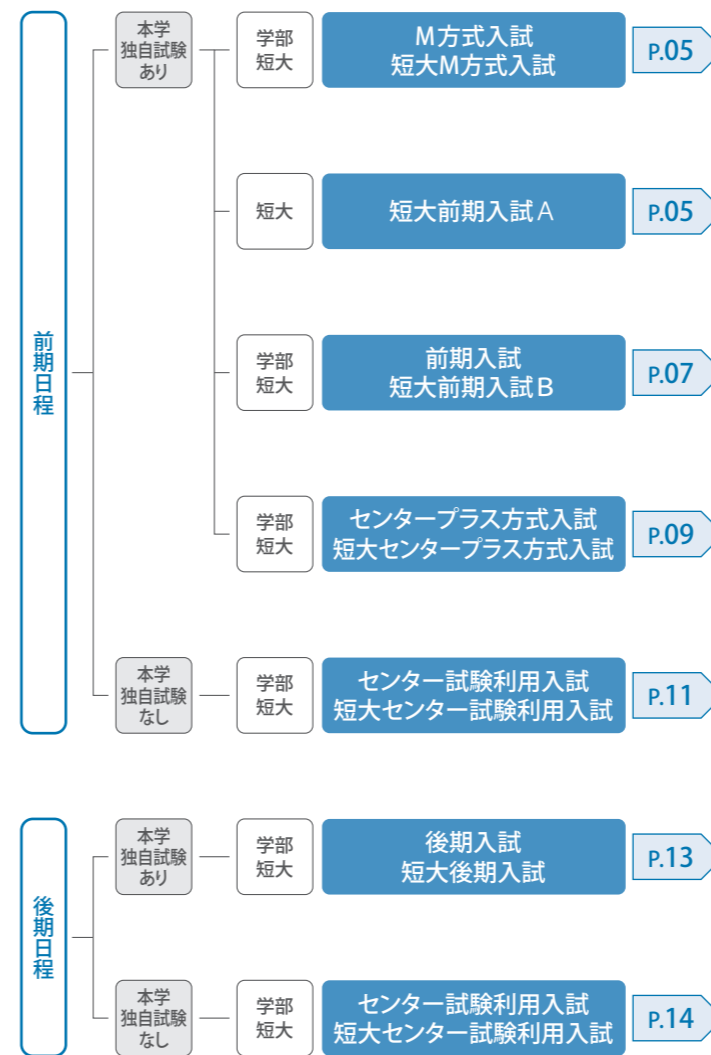
心理学とは、人の行動を科学の目で分析し、それを実践に活かすための理論であり技術です。心理学科では、心理学上の理論を学ぶとともに、さまざまな実験・実践などをとおして人間行動の謎を解き明かします。

基礎を身につけたあとは「認知心理学」「行動心理学」「発達・教育心理学」「臨床心理学」「比較心理学」「社会心理学」といった各領域に分かれ、専門性を深めます。

- 認知心理学
- 行動心理学
- 発達・教育心理学
- 臨床心理学
- 比較心理学
- 社会心理学

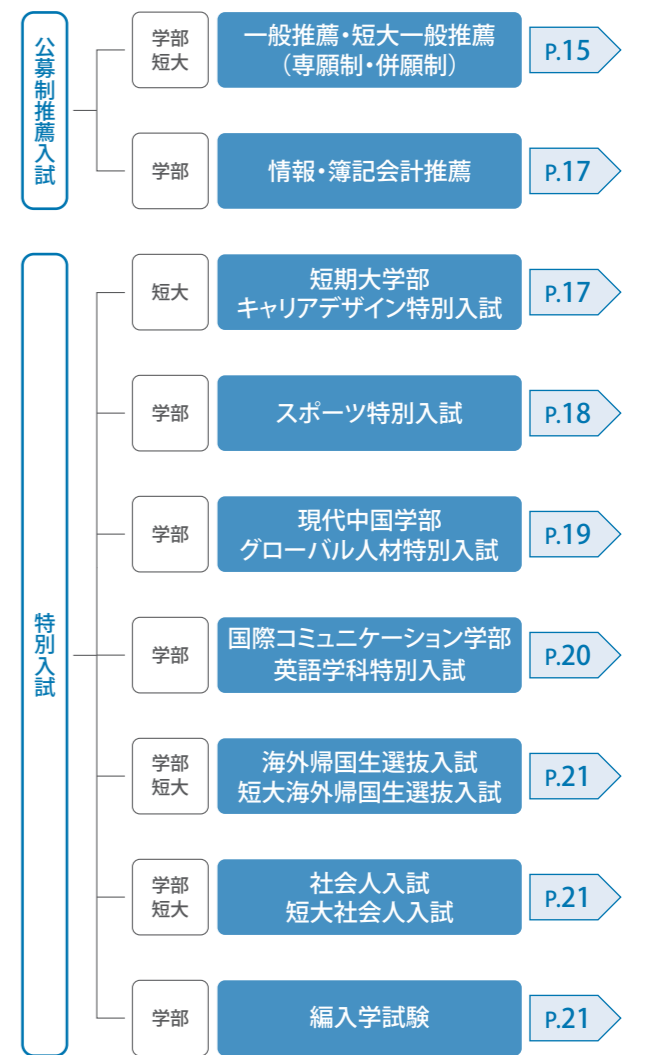
INDEX NEW 短大前期入試B、短大センタープラス方式入試、国際コミュニケーション学部英語学科特別入試

一般入試

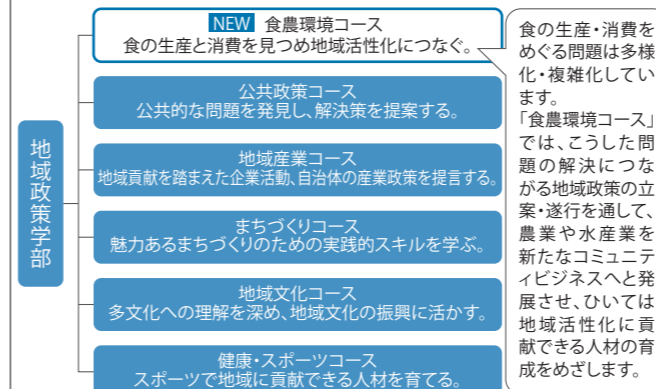


- P.22 Q&A
- P.23 データで見る愛大入試
- P.25 資格課程・奨学金制度
- P.26 入学手続/学納金等

公募制推薦入試・特別入試



③地域政策学部食農環境コースが新たに誕生



④国際コミュニケーション学部英語学科特別入試を新規導入

多様な国際社会で互いを尊重した異文化理解、高度な語学力と判断力を持って、世界の人々とのコミュニケーションを図り、国際社会での活躍をめざす人を、国際コミュニケーション学部英語学科特別入試により受け入れます。英語4技能を最大限活かせる入試です。

【選考方法】 調査書(評定平均値)(50点)/資格点(50点)/英語によるエッセイの作成(100点)/面接(個人・Speaking)(50点)
 上記による総合判定(250点満点) ※詳細はP.20をご覧ください。

⑤短期大学部一般入試が充実

短期大学部の新しい入試として、短大前期入試B、短大センタープラス方式入試を実施。一般入試が充実し、受験チャンスが広がります。

【新規試験実施日】 短大前期入試B / 短大センタープラス方式入試
2/5(月) 2/6(火) 2/7(水) 2/8(木)

従来の短期大学部一般入試(短大前期入試A、短大M方式入試、短大センター試験利用入試(前期・後期)、短大後期入試)も引き続き実施します。 ※詳細はP.07、08、09、10をご覧ください。

2018年度入試スケジュール

		2017年 9月～10月	11月～12月	2018年 1月	2月	3月
特別入試	現代中国学部グローバル人材特別入試 国際コミュニケーション学部英語学科特別入試 スポーツ特別入試 短期大学部キャリアデザイン特別入試 海外帰国生選抜入試 短大海外帰国生選抜入試 社会人入試 短大社会人入試 編入学試験	出願期間 9月12日(火)～ 9月29日(金) <必着>	試験日 10月15日 (日)	合格発表 10月28日 (土)		
	推薦入試 [一般推薦(専願制・併願制)、情報・簿記会計推薦] 短大公募制推薦入試 [短大一般推薦(専願制・併願制)]		出願期間 11月1日(水)～ 11月9日(木) <必着>	試験日 11月19日 (日)	合格発表 12月2日 (土)	
一般入試	前期日程	短大前期入試A		出願期間 【インターネット】 1月6日(土)～1月12日(金) (15:00まで)	試験日 1月29日(月) 30日(火)	合格発表 2月5日(月)
		M方式入試 短大M方式入試		出願期間 【インターネット】 1月6日(土)～1月12日(金) (15:00まで)	試験日 2月2日(金)	合格発表 2月20日(火)
		前期入試 短大前期入試B センタープラス方式入試 短大センタープラス方式入試		出願期間 【インターネット】 1月6日(土)～1月22日(月) (15:00まで)	試験日 2月5日(月)6日(火) 7日(水)8日(木)	合格発表 2月20日(火)
	センター試験利用入試(前期) [5教科型・3教科型] 短大センター試験利用入試(前期) [2教科型]		出願期間 【インターネット】 1月6日(土)～1月27日(土) (15:00まで)		合格発表 2月20日(火)	
	後期日程	後期入試 短大後期入試			出願期間 【インターネット】 2月13日(火)～2月27日(火) (15:00まで)	試験日 3月9日(金)
センター試験利用入試(後期) 短大センター試験利用入試(後期)				出願期間 【インターネット】 2月13日(火)～3月2日(金) (15:00まで)		合格発表 3月17日(土)

2018年度
大学入試センター試験
1月13日(土)・14日(日)

2018年度入学試験場一覧

NEW [津地方試験場] 2月8日(木)新規設置
一般入試(学部)全入試種別全試験日の受験が可能となりました。

学部	入試種別	試験日	本学試験場			地方試験場													
			名古屋キャンパス	豊橋キャンパス	車道キャンパス(※3)	東京	富山	金沢	松本	飯田	岐阜	大垣	静岡	浜松	四日市	津	広島	福岡	
法学部 経済学部 経営学部 現代中国学部 国際コミュニケーション学部 文学部 地域政策学部 短期大学部	特別入試・短大特別入試	10月15日(日)	●(※1)	●(※1)															
	推薦入試・短大推薦入試	11月19日(日)	●(※1)	●(※1)(※2)															
	短大前期入試A	1月29日(月)		●	●									●					
		1月30日(火)		●	●									●					
	M方式入試・短大M方式入試	2月 2日(金)	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	前期入試 短大前期入試B センタープラス方式入試 短大センタープラス方式入試	2月 5日(月)	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		2月 6日(火)	●	●							●			●	●	●	●	●	
		2月 7日(水)	●	●							●			●	●	●	●	●	
	後期入試・短大後期入試	2月 8日(木)	●	●							●			●			★		
3月 9日(金)		●	●							●			●	●	●	●	●		

(※1) 特別・推薦入試は志望学部が設置されているキャンパスでの受験となります。
 (※2) 短期大学部と名古屋キャンパス設置学部を併願する場合は、名古屋キャンパスでの受験となります。
 (※3) 車道キャンパス:名古屋市長区

★は2018年度新規設置試験場

M方式入試・短大M方式入試

入学検定料
割引制度

インターネット
出願

センター試験対策が活きるマークセンス方式。複数の学部・学科・コースに出願できます。

外国語(150点) + 国語(100点) + 選択1科目(100点)

入学
検定料
1出願 25,000円
2出願目以降 +15,000円

入試要項

学部・学科・コース	募集定員	出願期間	試験日・試験場		合格発表日	
			本学	地方		
法学部 法学科	30	【インターネット出願】 2018年 1月6日(土) ↓ 1月12日(金) <15:00まで>	2月2日(金) 名古屋 豊橋	2月2日(金) 東京 富山 金沢 松本 岐阜 静岡 浜松 四日市 津 広島	2月20日(火)	
経済学部 経済学科	30					
経営学部 経営学科	30					
	会計ファイナンス学科					10
現代中国学部 現代中国学科	15					
国際コミュニケーション学部 英語学科	15					
	国際教養学科					15
文学部 文学部★	30 ^{※2}					
						心理学科 ^{※1}
人文社会学科						
地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース					7
	地域産業コース					7
	まちづくりコース					4
	地域文化コース					2
	健康・スポーツコース	2				
	食農環境コース	3				
短期大学部(女子) ライフデザイン総合学科	5					

★詳しくはP.22をご覧ください。M方式入試入学者は、所属専攻決定前の1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。 ※1 2018年4月、新設(設置構想中)。 ※2 心理学科及び人文社会学科を合算した募集定員となります。

出題範囲・配点・時間

教科	科目	配点	満点 学部	満点 短大 [※]	時間
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ」(リスニングを除く) ※現代中国学部は、「中国語」の選択が可能	150点	350点	250点	80分
国語	「国語総合、現代文B、古典B」(古文・漢文はいずれか一方を試験当日に選択)	100点		80分	
地理歴史 公民 数学	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)」※出願時に5科目より1科目選択	100点		—	60分

(注) M方式入試と短大M方式入試を併願する場合は、3教科の受験が必要になります。ただし、短大M方式入試の合格判定は、「外国語」「国語」の2教科で行います。

短大前期入試A

入学検定料
割引制度

インターネット
出願

短大のメイン入試。2日間受験可能なマークセンス方式。

外国語(100点) + 国語(100点)

入学検定料
1出願 25,000円
2出願目 +20,000円

入試要項

学部・学科	募集定員	出願期間	試験日・試験場		合格発表日
			本学	地方	
短期大学部 ライフデザイン総合学科	30	【インターネット出願】 2018年 1月6日(土) ↓ 1月12日(金) <15:00まで>	1月29日(月) 1月30日(火) 車道 豊橋	1月29日(月) 1月30日(火) 浜松	2月5日(月)

出題範囲・配点・時間

教科	科目	配点	満点	時間
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ」(リスニングを除く)	100点	200点	60分
国語	「国語総合、国語表現」(現代文のみ)	100点		60分

※短大前期入試BはP.07をご覧ください。

追加合格を含みます

前年度入試結果

学部・学科・コース		募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率 (受験者/合格者)	合格最低点 ^(※2)
法学部	法学科	30	637	627	226	2.8	228
経済学部	経済学科	30	882	870	257	3.4	230
経営学部	経営学科	30	725	722	185	3.9	235
	会計ファイナンス学科	10	308	306	71	4.3	229
現代中国学部	現代中国学科	15	249	246	62	4.0	227
国際コミュニケーション学部	英語学科	15	366	360	54	6.7	253
	比較文化学科 ^(※1)	15	327	318	66	4.8	243
文学部 学部全体入試	人文社会学科	35	597	584	252	2.3	220
地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース	8	196	192	60	3.2	221
	地域産業コース	8	216	214	59	3.6	216
	まちづくりコース	5	101	99	33	3.0	214
	地域文化コース	4	78	77	20	3.9	212
	健康・スポーツコース	2	55	54	21	2.6	204
短期大学部	ライフデザイン総合学科	5	42	41	33	1.2	127
合計		212	4,779	4,710	1,399	—	—

(※1) 2018年4月より国際教養学科へ名称変更。(※2) 学部は350点満点、短期大学部は250点満点です。

入試のPOINT

複数の学部・学科・コースに出願可能

一度の試験で、複数の学部・学科・コースへ出願ができるため、受験機会が広がります。また、併願することで入学検定料は割引になります。

○M方式入試の出願例(2017年度実績)

- ① 文学部+地域政策学部 地域文化コース 合計2出願
得点215点→地域政策学部 地域文化コース 合格
- ② 法学部+経営学部 経営学科+地域政策学部 公共政策コース 合計3出願
得点230点→法学部、地域政策学部 公共政策コース 合格

全問マークセンス方式・安定した出題傾向

M方式入試は、大学入試センター試験と同じ全問マークセンス方式。マークセンス方式が得意な方に有利な入試です。また、毎年同様の出題方針で傾向が安定しています。短大は「2教科型」を実施。

全国12都市で試験実施

M方式入試は、本学試験場に加え全国10都市に試験場を設置。すべての試験場において同一問題で試験を実施しますので、全試験場で公平性を確保しています。

○試験場一覧

名古屋(本学)、豊橋(本学)、東京、富山、金沢、松本、岐阜、静岡、浜松、四日市、津、広島

受験生の皆さんを経済面で支援する制度

入学検定料
割引制度

1出願25,000円、2出願目以降15,000円となります。

前年度入試結果

学部・学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率 (受験者/合格者)	合格最低点 (200点満点)
短期大学部 ライフデザイン総合学科	40	72	71	62	1.1	86

入試のPOINT

全問マークセンス方式による2科目入試

全問マークセンス方式、英語と国語の2科目型入試です。試験日を2日間設定しており、出題の傾向と形式は2日間とも同じです。

3都市で受験可能

短期大学部が設置されている豊橋キャンパスに加え、車道キャンパス(名古屋市東区)と浜松でも受験が可能です。
○試験場一覧
車道(本学)、豊橋(本学)、浜松

受験生の皆さんを経済面で支援する制度

入学検定料
割引制度

1出願25,000円、2出願目は+20,000円となります。

前期入試 短大前期入試B NEW

愛知大学
スカラシップ
入学検定料
割引制度
インターネット
出願

募集定員が最も多い愛大のメイン入試

外国語(150点) + 国語(100点) + 選択1科目(100点) + 外国語(150点) + 国語(100点)

入学
検定料
1出願 25,000円
2出願目以降 +20,000円
※センタープラス方式入試との併願にも適用されます。

入試要項

学部・学科・コース	募集定員	出願期間	試験日・試験場		合格発表日	
			本学	地方		
法学部 法学科	90	【インターネット出願】 2018年 1月6日(土) 5 1月22日(月) <15:00まで>	2月5日(月) 名古屋 豊橋	2月5日(月) 東京 富山 金沢 松本 飯田 岐阜 大垣 静岡 浜松 四日市 津 福岡	2月20日(火)	
経済学部 経済学科	110					
経営学部	経営学科		90			
	会計ファイナンス学科		30			
現代中国学部 現代中国学科	45					
国際 コミュニケーション 学部	英語学科		38			
	国際教養学科		37			
文学部 人文社会学科	心理学科*		20	2月6日(火) 名古屋 豊橋		2月6日(火) 岐阜 浜松 四日市 津
	現代文化コース		20	2月7日(水) 名古屋 豊橋		2月7日(水) 岐阜 浜松 四日市 津
	社会学コース		20			
	歴史・地理学コース		21			
	日本語日文学コース		13			
欧米言語文化コース	17		2月8日(木) 名古屋 豊橋	2月8日(木) 岐阜 浜松 津		
公共政策コース	20					
地域産業コース	20					
まちづくりコース	13					
地域文化コース	7					
地域政策学部	健康・スポーツコース		10			
	食農環境コース	9				
短期大学部(女子) ライフデザイン総合学科	5					

*詳しくはP.22をご覧ください。 ※2018年4月、新設(設置構想中)。

試験日の選択が可能で、
最大4日間の受験が可能。

出題範囲・ 配点・時間

教科	科目	配点	満点		時間
			学部	短大	
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ」 (リスニングを除く) ※現代中国学部は、2月5日(月)のみ「中国語」の選択が可能 (出願時に選択)	150点	350点	250点	80分
国語	「国語総合、現代文B、古典B」 (古文・漢文はいずれか一方を試験当日に選択)	100点			
地理歴史 公民 数学	「世界史B」「日本史B」「地理B(注)」「倫理、政治・経済(注)」 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)」 ※出願時に5科目より1科目選択 (注)「地理B」、「倫理、政治・経済」は2月5日(月)のみ選択が可能	100点	—	—	60分

※全学部共通問題であり、同一傾向・同一形式による出題です。
「外国語」「国語」「世界史」「日本史」はマークセンス方式・記述式併用。「地理B」、「倫理、政治・経済」、「数学」は全問記述式です。

前年度 入試結果

学部・学科・コース	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率 (受験者/合格者)	合格最低点 (350点満点)	
法学部 法学科	100	1,103	1,076	227	4.7	210	
経済学部 経済学科	110	1,634	1,607	306	5.3	211	
経営学部	経営学科	90	1,165	1,147	246	4.7	212
	会計ファイナンス学科	30	426	414	76	5.4	204
現代中国学部 現代中国学科	45	398	391	103	3.8	203	
国際 コミュニケーション 学部	英語学科	38	533	529	77	6.9	223
	比較文化学科*	37	466	455	79	5.8	210
文学部 人文社会学科	現代文化コース	20	86	84	21	4.0	202
	社会学コース	20	142	137	37	3.7	200
	心理学コース	20	173	170	33	5.2	205
	歴史・地理学コース	21	301	291	55	5.3	220
	日本語日文学コース	13	229	216	47	4.6	205
コース別入試	欧米言語文化コース	17	103	101	31	3.3	202
地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース	21	246	238	63	3.8	206
	地域産業コース	21	200	199	61	3.3	192
	まちづくりコース	15	155	147	40	3.7	196
	地域文化コース	10	173	172	48	3.6	195
	健康・スポーツコース	10	109	107	22	4.9	205
合計	638	7,642	7,481	1,572	—	—	

※2018年4月より国際教養学科へ名称変更。

入試のPOINT

前期入試とセンタープラス方式入試との同日出願可能

2/5 (月)	2/6 (火)	2/7 (水)	2/8 (木)
前期 短大前期B	前期 短大前期B	前期 短大前期B	前期 短大前期B
センタープラス方式 短大センタープラス方式	センタープラス方式 短大センタープラス方式	センタープラス方式 短大センタープラス方式	センタープラス方式 短大センタープラス方式

- 試験日は全4日間を設定。受験スケジュールに合わせて試験日を選択できます。
- 1試験日につき短大を含め、1学部・学科・コースへの出願。最大4日間4出願が可能です。
- センタープラス方式入試・短大センタープラス方式入試を同時に出願する場合、最大4日間8出願が可能です。出願先は異なっても構いません。合否判定はそれぞれ行います。

全国14都市で試験実施

初日の2月5日(月)は、本学試験場に加え全国12都市に地方試験場を設置。四日市は6日(火)・7日(水)も試験場を設置し、岐阜・浜松・津は4日間の全日程で試験場を設置しています。すべての試験場において試験日ごとに同一問題で試験を実施しますので、全試験場で公平性を確保しています。

受験生の皆さんを 経済面で支援する2つの制度

愛知大学
スカラシップ

前期入試の成績上位者に対して、1年次の授業料と教育充実費相当額を給付する制度です。入学後の成績により2年次以降も継続給付します。
★詳しくはP.25をご覧ください。

入学検定料
割引制度

1出願25,000円、2出願目以降1出願につき20,000円となります。センタープラス方式入試との併願にも適用されます。

○一般入試(前期日程)における学部併願例(2017年度実績)

出願学部	併願先学部 TOP3		
	①	②	③
法学部	経済学部	地域政策学部	経営学部 経営学科
経営学部 経営学科	経済学部	経営学部 会計ファイナンス学科	地域政策学部
国際コミュニケーション学部 英語学科	国際コミュニケーション学部 比較文化学科*	文学部	現代中国学部
地域政策学部	経済学部	文学部	法学部

※2018年4月より国際教養学科へ名称変更。

○前期入試・センタープラス方式入試の出願例(2017年度実績)

- 前期入試を複数日出願
2/5 前期入試 経営学部 会計ファイナンス学科 211点 合格
2/6 前期入試 経営学部 経営学科 205点 不合格
- 前期入試・センタープラス方式入試を同日出願
2/5 前期入試 文学部 欧米言語文化コース 212点 合格
2/5 センタープラス方式入試 法学部 250点 合格
2/6 前期入試 文学部 欧米言語文化コース 192点 不合格
2/6 センタープラス方式入試 経済学部 244点 合格

NEW 短大前期入試Bを導入

2月5日(月)、6日(火)、7日(水)、8日(木)の4日間、短期大学部に出願できるようになりました。センタープラス方式入試に同日出願することにより、学部との併願も可能です。

※前期入試と短大前期入試Bの同日出願はできません。

※短大前期入試AはP.05をご覧ください。

センタープラス方式入試 短大センタープラス方式入試

入学検定料
割引制度

インターネット
出願

前期入試対策とセンター試験の高得点科目が活きる入試。

独自試験1科目(100点)^(*)(前期入試と共通問題)
※国際コミュニケーション学部は200点

センター試験2教科2科目^(*)(各100点)^(**)
※1 地域政策学部食農環境コースは2科目
※2 短大センタープラス方式入試はセンター試験1科目(100点)

入学検定料

1出願 25,000円
2出願目以降 +20,000円
※前期入試との併願にも適用されます。

入試要項

学部・学科・コース	募集定員	出願期間	試験日・試験場		合格発表日	
			本学	地方		
法学部 法学科	30	【インターネット出願】 2018年 1月6日(土) ↓ 1月22日(月) <15:00まで>	2月5日(月) 名古屋 豊橋	2月5日(月) 東京 富山 金沢 松本 飯田 岐阜 大垣 静岡 浜松 四日市 津 福岡	2月20日(火)	
経済学部 経済学科	20					
経営学部 経営学科	15					
	会計ファイナンス学科					5
現代中国学部 現代中国学科	10					
国際コミュニケーション学部 英語学科	5					
	国際教養学科					5
文学部 人文社会科学科	心理学科*					4
	現代文化コース					5
	社会学コース					4
	歴史・地理学コース					4
	日本語日本文学コース					3
	欧米言語文化コース					5
地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース					2
	地域産業コース	2				
	まちづくりコース	2				
	地域文化コース	2				
	健康・スポーツコース	1				
	食農環境コース	2				
短期大学部(女子) ライフデザイン総合学科	5					

試験日の選択が可能で、
最大4日間の受験が可能。

2018年度大学入試センター試験
1月13日(土)・14日(日)

★詳しくはP.22をご覧ください。 ※2018年4月、新設(設置構想中)。

出題範囲

独自試験 試験時間
「外国語」80分
「国語」80分
「数学」60分

試験種別	科目	出題範囲
独自試験	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ」(リスニングを除く) ※現代中国学部は2月5日(月)のみ「中国語」の選択が可能。(出願時に選択)
	国語	「国語総合、現代文B、古典B」(古文・漢文はいずれか一方を試験当日に選択)
	数学	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)」
大学入試センター試験	外国語	「英語(リスニングを含む)」 ※現代中国学部は「中国語」を選択可。文学部は「ドイツ語」「フランス語」「中国語」を選択可。
	国語	「国語」 ※法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、国際コミュニケーション学部、地域政策学部、短期大学部は近代以降の文章。 文学部は近代以降の文章及び古文または漢文(古文・漢文を両方受験している場合は高得点の方を採用)。
	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」
	数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」 (基礎を付した科目は2科目で1科目分として扱います)

※独自試験(外国語・国語・数学)は前期入試と共通問題です。「外国語」「国語」はマークセンス方式・記述式併用。数学は全問記述式です。
※前期入試と同日に出願する場合は3教科の受験が必要になります。

教科・科目・配点

教科	法学部 現代中国学部	経済学部	経営学部 文学部	国際 コミュニケーション学部	地域政策学部		短期大学部	
	外国語 国語 数学	1教科選択 100点	1教科選択 100点	1教科選択 100点	外国語必須 200点	公共政策 地域産業 健康・スポーツ まちづくり 地域文化 食農環境 NEW 食農環境	1教科選択 100点	
配点	独自試験	2教科2科目選択 ※独自試験で選択した 教科を除く 各100点(注3)	2教科2科目選択 ※独自試験で選択した 教科を除く ※外国語・国語・数学の中 から必ず1教科1科目を 含むこと 各100点(注3)	1教科1科目選択 ※独自試験で選択した教科を除く 100点(注2)	—	1教科1科目選択 ※独自試験で選択した教科を除く 100点	2科目選択 ※独自試験で選択した 教科を除く ※数学又は理科の中 から必ず1教科1科 目を含むこと 各100点(注4)	1教科1科目選択 ※独自試験で選択した 教科を除く 100点(注3)
配点	大学入試 センター試験	2教科2科目選択 ※独自試験で選択した 教科を除く 各100点(注3)	2教科2科目選択 ※独自試験で選択した 教科を除く ※外国語・国語・数学の中 から必ず1教科1科目を 含むこと 各100点(注3)	1教科1科目選択 ※独自試験で選択した教科を除く 100点(注2)	必須 100点	1教科1科目選択 ※独自試験で選択した教科を除く 100点(注3)	2科目選択 ※独自試験で選択した 教科を除く ※数学又は理科の中 から必ず1教科1科 目を含むこと 各100点(注4)	1教科1科目選択 ※独自試験で選択した 教科を除く 100点(注3)
満点		300点	300点	300点	400点	300点	300点	200点

(注1) センター試験「外国語」について、英語250点満点を100点に換算(リスニング免除者は筆記200点満点を100点に換算)。その他の外国語について、200点満点を100点に換算。
(注2) 文学部のセンター試験「国語」について、古文・漢文の両方を受験している場合は、高得点の方を採用し、150点満点を100点に換算。
(注3) 選択科目を所定の科目数を超えて受験した場合、高得点の科目から採用。ただし、「地理歴史・公民」、「理科(基礎を付していない科目)」は第1解答科目を採用。「理科」について、基礎を付した2科目及び基礎を付していない1科目を受験した場合は、基礎を付した2科目の成績と基礎を付していない1科目の成績のうち、いずれか高得点のものを採用。
(注4) 選択科目を所定の科目数を超えて受験した場合、「数学」及び「理科」の中から1教科1科目を含み、高得点の科目から採用。ただし、「地理歴史・公民」、「理科(基礎を付していない科目)」は第1解答科目を採用。

追加合格を含みます

前年度 入試結果

学部・学科・コース	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率 (受験者/合格者)	合格最低点 ^(**)	
法学部 法学科	20	712	693	180	3.9	212.0	
経済学部 経済学科	20	464	451	97	4.6	212.0	
経営学部 経営学科	15	381	374	95	3.9	210.0	
	会計ファイナンス学科	5	160	150	39	3.8	201.2
現代中国学部 現代中国学科	10	163	162	46	3.5	201.0	
国際コミュニケーション学部 英語学科	5	161	159	28	5.7	279.0	
	比較文化学科 ^(**1)	5	169	165	71	2.3	242.0
文学部 人文社会科学科	現代文化コース	5	59	57	23	2.5	183.0
	社会学コース	4	73	73	33	2.2	186.8
	心理学コース	4	97	95	35	2.7	189.0
	歴史・地理学コース	4	133	132	43	3.1	202.3
	日本語日本文学コース	3	116	115	45	2.6	199.2
	欧米言語文化コース	5	49	49	23	2.1	195.7
地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース	2	69	69	16	4.3	204.2
	地域産業コース	2	62	61	16	3.8	193.0
	まちづくりコース	2	90	90	24	3.8	194.0
	地域文化コース	2	67	67	21	3.2	194.4
	健康・スポーツコース	1	45	44	11	4.0	195.0
合計	114	3,070	3,006	846	—	—	

(**1) 2018年4月より国際教養学科へ名称変更。 (**2) 国際コミュニケーション学部は400点満点、その他の学部は300点満点です。

入試のPOINT

センタープラス方式入試と前期入試との同日出願可能

2/5 (月)	2/6 (火)	2/7 (水)	2/8 (木)
センタープラス方式 短大センタープラス方式	センタープラス方式 短大センタープラス方式	センタープラス方式 短大センタープラス方式	センタープラス方式 短大センタープラス方式
前期 短大前期B	前期 短大前期B	前期 短大前期B	前期 短大前期B

- 試験日は全4日間を設定。受験スケジュールに合わせて試験日を選択できます。
- 1試験日につき短大を含め1学部・学科・コースへの出願。最大4日間4出願が可能です。
- 前期入試を同時に出願する場合、最大4日間8出願が可能です。出願先は異なっても構いません。合否判定はそれぞれ行います。

全国14都市で試験実施

初日の2月5日(月)は、本学試験場に加え全国12都市に地方試験場を設置。四日市は6日(火)・7日(水)も試験場を設置し、岐阜・浜松・津は4日間の全日程で試験場を設置しています。すべての試験場において試験日ごとに同一問題で試験を実施しますので、全試験場で公平性を確保しています。

○前期入試・センタープラス方式入試の出願例(2017年度入試実績)

- センタープラス方式入試を複数日出願
2/5 センタープラス方式入試 国際コミュニケーション学部 英語学科 260点 不合格
2/6 センタープラス方式入試 国際コミュニケーション学部 比較文化学部* 261点 合格
※2018年4月より国際教養学科へ名称変更。
- 前期入試・センタープラス方式入試を同日出願
2/5 前期入試 文学部 欧米言語文化コース 212点 合格
2/5 センタープラス方式入試 法学部 250点 合格
2/6 前期入試 文学部 欧米言語文化コース 192点 不合格
2/6 センタープラス方式入試 経済学部 244点 合格

NEW 短大センタープラス方式入試を導入

2月5日(月)、6日(火)、7日(水)、8日(木)の4日間、短期大学部に
出願できるようになりました。前期入試に同日出願すること
により、学部との併願も可能です。

※センタープラス方式入試と短大センタープラス方式入試の同日出願はできません。

受験生の皆さんを経済面で支援する制度

入学検定料
割引制度

1出願25,000円、2出願目以降1出願につき20,000円となります。
前期入試との併願にも適用されます。

後期入試・短大後期入試

入学検定料
割引制度

インターネット
出願

愛大受験のラストチャンス。学部と短大の併願も可能。

外国語(100点) + 国語(現代文)(100点) + 選択1科目(100点) + 選択1科目(100点)

入学検定料

1出願 25,000円
2出願目以降 +15,000円

入試要項

学部・学科・コース	募集定員	出願期間	試験日・試験場		合格発表日	
			本学	地方		
法学部 法学科	20	【インターネット出願】 2018年 2月13日(火) ↓ 2月27日(火) <15:00まで>	3月9日(金) 名古屋 豊橋	3月9日(金) 岐阜 浜松 四日市 津	3月17日(土)	
経済学部 経済学科	20					
経営学部 経営学科	12					
	会計ファイナンス学科					5
現代中国学部 現代中国学科	10					
国際コミュニケーション学部 英語学科	5					
	国際教養学科					5
文学部 心理学科 ^{※1}	22 ^{※2}					
						人文社会学科
地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース					3
	地域産業コース					3
	まちづくりコース					2
	地域文化コース					1
	健康・スポーツコース					1
	食農環境コース	1				
短期大学部(女子) ライフデザイン総合学科	10					

★詳しくはP.22をご覧ください。後期入試入学者は、所属専攻決定前の1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。 ※1 2018年4月、新設(設置構想中)。 ※2 心理学科及び人文社会学科を合算した募集定員となります。

出題範囲・配点・時間

教科	科目	配点	満点		時間
			学部	短大(注)	
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ(リスニングを除く)」	100点	300点	1科目選択 100点	60分
国語	「国語総合、現代文B(現代文のみ)」	100点			60分
地理歴史 数学	「世界史B」「日本史B」「地理B」「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)」 ※出願時に4科目より1科目選択	100点			60分

(注)後期入試と短大後期入試を併願する場合は、3教科の受験が必要になります。ただし、短大後期入試の可否判定は、出願時に選択した1科目で行います。

前年度入試結果

学部・学科・コース	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率(受験者/合格者)		合格最低点 ^(※2)
					学部	短大	
法学部 法学科	20	263	255	36	7.1	199	
経済学部 経済学科	20	476	459	60	7.7	201	
経営学部 経営学科	12	281	266	18	14.8	206	
	会計ファイナンス学科	5	163	156	36	4.3	194
現代中国学部 現代中国学科	10	193	188	35	5.4	194	
国際コミュニケーション学部 英語学科	5	85	77	13	5.9	199	
	比較文化学科 ^(※1)	5	82	76	10	7.6	201
文学部 学部全体入試 人文社会学科	22	190	175	90	1.9	171	
地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース	3	68	67	5	13.4	205
	地域産業コース	3	81	80	6	13.3	201
	まちづくりコース	2	84	79	7	11.3	203
	地域文化コース	2	73	73	7	10.4	201
	健康・スポーツコース	1	35	31	4	7.8	200
短期大学部 ライフデザイン総合学科	10	48	48	16	3.0	68	
合計	120	2,122	2,030	343	—	—	

(※1)2018年4月より国際教養学科へ名称変更。(※2)学部は300点満点、短期大学部は100点満点です。

入試のPOINT

複数の学部・学科・コースへ出願可能

学部と短大含めて複数の学部・学科・コースへ出願ができます。一度の試験で可否判定をそれぞれ行います。

前期入試・M方式入試の対策を活かせます

学部入試は前期・M方式入試と同様の3教科型入試。解答は全問マークセンス方式です。

受験生の皆さんを経済面で支援する制度

入学検定料
割引制度

1出願25,000円、2出願目以降1出願につき15,000円となります。

センター試験利用入試(後期) 短大センター試験利用入試(後期)

入学検定料
割引制度

インターネット
出願

国立大学との併願がしやすく、得意科目が活かせる受験生の負担が少ない入試。

外国語 + 選択2教科2科目 + 選択1科目(100点)

入学検定料

1出願 20,000円
2出願目以降 +10,000円

入試要項

学部・学科・コース	募集定員	出願期間	試験日	合格発表日	
法学部 法学科	10	【インターネット出願】 2018年 2月13日(火) ↓ 3月2日(金) <15:00まで>	独自試験なし (センター試験のみ) 2018年度 大学入試センター試験 1月13日(土) 1月14日(日)	3月17日(土)	
経済学部 経済学科	10				
経営学部 経営学科	4				
	会計ファイナンス学科				4
現代中国学部 現代中国学科	3				
国際コミュニケーション学部 英語学科	2				
	国際教養学科				3
文学部 心理学科 ^{※1}	10 ^{※2}				
					人文社会学科
地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース				2
	地域産業コース				2
	まちづくりコース				1
	地域文化コース				1
	健康・スポーツコース				1
	食農環境コース	1			
短期大学部(女子) ライフデザイン総合学科	5				

★詳しくはP.22をご覧ください。センター試験利用入試(後期)入学者は、所属専攻決定前の1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。 ※1 2018年4月、新設(設置構想中)。 ※2 心理学科及び人文社会学科を合算した募集定員となります。

科目・配点

教科	科目	科目選択・配点		満点	
		学部	短大	学部	短大
外国語(注1)	「英語(リスニングを含む)(注2)」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択 100点	—	—	—
国語	「国語(近代以降の文章)」	—	—	—	—
地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	2教科 2科目選択 各100点 (注3)	1科目選択 100点 (注3)	300点	100点
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	—	—	—	—
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」 (基礎を付した科目は2科目で1科目分として扱います)	—	—	—	—

(注1)英語について、250点満点を100点に換算(リスニング免除者は筆記200点満点を100点に換算)。その他の外国語について、200点満点を100点に換算。
(注2)出願時点で以下のいずれかの英語能力試験スコア等を保持している場合は、外国語の「英語(リスニングを含む)」を満点として換算。
○実用英語技能検定準1級以上 ○TOEFL-IBT[®]72点以上 ○TOEIC[®]785点以上 ○TOEIC[®]+TOEIC[®]S&W1095点以上 ○TEAP334点以上 ○IELTS[™]5.5以上
※TEAPは4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)で受験することが必要です。
※出願時に期限が有効なスコア等を提出した者のみ対象とします。
(注3)センター試験の選択科目を所定の科目数を超えて受験した場合、高得点の科目から採用。ただし、「地理歴史・公民」、「理科(基礎を付していない科目)」は第1解答科目を採用。理科について、基礎を付した2科目及び基礎を付していない1科目を受験した場合は、基礎を付した2科目の成績と基礎を付していない1科目の成績のうち、いずれか高得点のものを採用。

前年度入試結果

学部・学科・コース	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率(受験者/合格者)	合格最低点率	
法学部 法学科	10	110	109	53	2.1	71.7%	
経済学部 経済学科	10	101	100	52	1.9	72.2%	
経営学部 経営学科	4	46	46	16	2.9	74.6%	
	会計ファイナンス学科	4	42	42	27	1.6	69.9%
現代中国学部 現代中国学科	3	54	54	18	3.0	70.5%	
国際コミュニケーション学部 英語学科	2	20	19	13	1.5	74.2%	
	比較文化学科 [※]	3	20	19	6	3.2	76.9%
文学部 学部全体入試 人文社会学科	10	41	41	36	1.1	61.9%	
地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース	2	11	11	6	1.8	72.8%
	地域産業コース	2	13	13	6	2.2	74.1%
	まちづくりコース	1	14	14	4	3.5	72.8%
	地域文化コース	1	18	18	5	3.6	72.7%
	健康・スポーツコース	1	3	3	2	1.5	61.9%
短期大学部 ライフデザイン総合学科	5	25	25	9	2.8	75.6%	
合計	58	518	514	253	—	—	

※2018年4月より国際教養学科へ名称変更。

入試のPOINT

大学入試センター試験の成績だけで出願可能

2018年度大学入試センター試験の成績のみで可否を判定します。2018年3月2日(金)まで、出願できます。

併願による入学検定料割引があります

1出願20,000円、2出願目以降1出願につき10,000円で受験することができます。複数の学部・学科・コースへ出願が可能です。

入学検定料
割引制度

一般推薦・短大一般推薦(専願制・併願制)

高等学校で培ってきた基礎学力を発揮できる学科試験を実施。

国際コミュニケーション学部一般推薦(専願制)は、新たに国語学科試験を課します。

入学検定料

1出願 35,000円
※学部と短大を併願する場合45,000円

入試要項

学部・学科・コース	募集定員			出願期間	試験日	試験場	合格発表日	
	専願制	併願制						
		学科試験型	Speaking型					
法学部 法学科	5	20	—	2017年 11月1日(水) ～ 11月9日(木) ＜必着＞	11月19日(日)	名古屋 【本学】	12月2日(土)	
経済学部 経済学科	10	20	—					
経営学部	経営学科	5	7					—
	会計ファイナンス学科	6	6					—
現代中国学部 現代中国学科	10	10	—					
国際コミュニケーション学部	英語学科	13	2					3
	国際教養学科	5	5					2
文学部 学部全体入試★	心理学科 ^{※1}	10 ^{※2}	23 ^{※2}					—
	人文社会学科	—	—					—
地域政策学部	公共政策コース	4	3					—
	地域産業コース	4	3	—				
	まちづくりコース	3	3	—				
	地域文化コース	1	1	—				
	健康・スポーツコース	1	1	—				
	食農環境コース	3	2	—				
短期大学部(女子) ライフデザイン総合学科	5	5	—					

★詳しくはP.22をご覧ください。一般推薦入試入学者は、所属専攻決定前の1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。 ※1 2018年4月、新設(設置構想中)。 ※2 心理学科及び人文社会学科を合算した募集定員となります。

出願資格

学部 専願制	出願資格
-----------	------

学部 専願制

次の①～③(国際コミュニケーション学部は①～④)を満たすこと。
 ①2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みで、出身学校長の推薦が受けられる者
 ②本学専願者(本学を第1志望とし、合格者は必ず入学すること)
 ③高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が3.5以上
 ④国際コミュニケーション学部志願者は、上記に加え、次のいずれかに該当する者、
 または相当資格を有すること(ただしTOEIC-IP及びGTEC for STUDENTSは除く)
 【英語学科、国際教養学科】
 ○実用英検2級以上 ○国連英検B級以上 ○TOEFL-iBT[®]48点以上 ○TOEIC[®]550点以上
 ○TOEIC[®]+TOEIC[®]S&W790点以上 ○TEAP260点以上 ○IELTS[™]4.0以上
 ※TEAPは4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)で受験することが必要です。
 ※出願時に期限が有効なスコア等を提出した者のみ対象です。

学部 併願制

次の①・②(国際コミュニケーション学部Speaking型は①～③)を満たすこと。
 ①2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みで、出身学校長の推薦が受けられる者
 ②高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が3.0以上
 ③国際コミュニケーション学部Speaking型志願者は、上記に加え、次のいずれかに該当する者、
 または相当資格を有すること(ただしTOEIC-IP及びGTEC for STUDENTSは除く)
 【英語学科、国際教養学科】
 ○実用英検2級以上 ○国連英検B級以上 ○TOEFL-iBT[®]48点以上 ○TOEIC[®]550点以上
 ○TOEIC[®]+TOEIC[®]S&W790点以上 ○TEAP260点以上 ○IELTS[™]4.0以上
 ※TEAPは4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)で受験することが必要です。
 ※出願時に期限が有効なスコア等を提出した者のみ対象です。
 ※他大学との併願、本学短大との同日出願が可能です。
 ※本学他学部との同日出願はできません。

短期大学部 専願制・併願制

次の①・②を満たすこと。
 ①2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みで、出身学校長の推薦が受けられる者(女子)
 ②[専願制]本学専願者で高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が3.3以上 [併願制]高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が3.0以上
 ※併願制は他大学との併願、本学他学部との同日出願が可能です。
 ※名古屋キャンパス設置学部を併願する場合は名古屋キャンパスでの受験となります。

出題範囲

教科	科目	方式・時間
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ」(リスニングを除く)	マークセンス方式 60分
国語	「国語(近代以降の文章)」	マークセンス方式 60分

選考方法・配点

学部・学科		選考方法・配点	満点	
専願制	法学部 法学科	調査書(評定平均値)50点 ^(※1) + 外国語100点 + 国語100点	250点	
	経済学部 経済学科	調査書(評定平均値)50点 ^(※1) + 外国語100点 + 国語100点	250点	
	経営学部	経営学科	調査書(評定平均値)50点 ^(※1) + 外国語100点 + 面接(グループ) ^(※2)	150点
		会計ファイナンス学科	—	—
	現代中国学部 現代中国学科	調査書(評定平均値)50点 ^(※1) + 外国語100点 + 面接(個人)50点	200点	
	国際コミュニケーション学部	英語学科	調査書(評定平均値)50点 ^(※1) + 国語50点 + 面接(個人・Speaking)100点 ^(※3)	200点
		国際教養学科	調査書(評定平均値)50点 ^(※1) + 国語50点 + 面接(個人・Speaking)50点 ^(※3)	150点
	文学部 学部全体入試★	心理学科*	調査書(評定平均値)50点 ^(※1) + 外国語100点 + 国語100点 + 面接(個人)50点	300点
		人文社会学科	—	—
	地域政策学部 地域政策学科	調査書(評定平均値)50点 ^(※1) + 外国語100点 + 面接(個人)50点	200点	
短期大学部 ライフデザイン総合学科	調査書(評定平均値)50点 ^(※1) + 外国語または国語100点 + 面接(個人)50点	200点		
併願制	法学部 法学科	調査書(評定平均値)20点 ^(※1) + 外国語100点 + 国語100点	220点	
	経済学部 経済学科	調査書(評定平均値)20点 ^(※1) + 外国語100点 + 国語100点	220点	
	経営学部	経営学科	調査書(評定平均値)20点 ^(※1) + 外国語100点 + 国語100点	220点
		会計ファイナンス学科	—	—
	現代中国学部 現代中国学科	調査書(評定平均値)20点 ^(※1) + 外国語100点 + 国語100点	220点	
	国際コミュニケーション学部	英語学科	調査書(評定平均値)20点 ^(※1) + 外国語200点 + 国語100点	320点
		国際教養学科	—	—
	文学部 学部全体入試★	心理学科*	調査書(評定平均値)20点 ^(※1) + 外国語100点 + 国語100点	220点
		人文社会学科	—	—
	地域政策学部 地域政策学科	調査書(評定平均値)20点 ^(※1) + 外国語100点 + 国語100点	220点	
短期大学部 ライフデザイン総合学科	調査書(評定平均値)20点 ^(※1) + 外国語または国語100点 ^(※4)	120点		
国際コミュニケーション学部	英語学科	調査書(評定平均値)20点 ^(※1) + 外国語100点 + 面接(個人・Speaking)50点 ^(※3)	170点	
	国際教養学科	—	—	

★詳しくはP.22をご覧ください。 ※2018年4月、新設(設置構想中)。
 (※1)全体の評定平均値を、専願制は10倍、併願制は4倍した数値を得点とします。(※2)面接(グループ)は可または不可の評価です。
 (※3)面接(個人・Speaking)について
 【英語学科】英語による簡単な日常会話と、写真・イラストの内容等に関する英語による質疑応答。
 【国際教養学科】志望理由書の内容にかかわる外国語(英語)および日本語による口頭試問。
 (※4)国際コミュニケーション学部Speaking型を併願する場合は、外国語を選択。

前年度入試結果

学部・学科・コース	専願制					併願制					
	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率(受験者/合格者)	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率(受験者/合格者)	
法学部 法学科	5	58	58	14	4.1	20	169	169	59	2.9	
経済学部 経済学科	10	47	47	15	3.1	20	198	198	73	2.7	
経営学部	経営学科	5	48	48	11	4.4	5	171	169	30	5.6
	会計ファイナンス学科	5	15	15	7	2.1	5	37	37	13	2.8
現代中国学部 現代中国学科	10	18	18	10	1.8	10	54	53	19	2.8	
国際コミュニケーション学部	英語学科	15	39	39	30	1.3	2	68	68	11	6.2 ^(※2)
	比較文化学科 ^(※1)	5	8	8	8	1.0	5	27	24	7	3.4 ^(※2)
文学部 学部全体入試	人文社会学科	10	42	42	18	2.3	2	60	60	13	4.6 ^(※2)
地域政策学部	公共政策コース	5	16	16	7	2.3	4	31	31	12	2.6
	地域産業コース	5	7	7	5	1.4	4	4	4	3	1.3
	まちづくりコース	4	14	14	6	2.3	4	26	26	9	2.9
	地域文化コース	2	3	3	2	1.5	2	11	11	5	2.2
	健康・スポーツコース	1	8	8	3	2.7	1	11	11	3	3.7
短期大学部 ライフデザイン総合学科	5	9	9	9	1.0	5	22	22	22	1.0	
合計	87	332	332	145	—	117	1,020	1,012	355	—	

(※1)2018年4月より国際教養学科へ名称変更。(※2)上段:併願制学科試験型、下段:併願制Speaking型。

情報・簿記会計推薦

併願制

簿記、情報などの資格を取得した現役生を対象とする入試。
経済学部、経営学部で実施します。

入学検定料 35,000円

入試要項

学部・学科	募集定員	出願期間	試験日	試験場	合格発表日
経済学部 経済学科	5	2017年 11月1日(水) 11月9日(木) <必着>	11月19日(日)	名古屋 【本学】	12月2日(土)
経営学部 経営学科	10				
経営学部 会計ファイナンス学科	20				

出願資格・ 選考方法・ 配点

出願資格	選考方法・配点
次の①・②を満たすこと。 ①2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みで、出身学校長の推薦が受けられる者 ②次のa.~g.のいずれかに該当すること a.日商簿記1級合格 b.日商簿記2級合格、かつ高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が4.0以上 c.全商簿記1級合格、かつ高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が4.0以上 d.応用情報技術者試験合格 e.基本情報技術者試験合格、かつ高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が3.8以上 f.ITパスポート試験合格、かつ高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が4.0以上 g.全経簿記能力検定上級合格 (注)a, d, e, gによる出願については資格点として加算します。 ※他大学との併願が可能です。 ※本学他学部との同日出願はできません。	○調査書(評定平均値)50点 全体の評定平均値を10倍した数値を加点とします。 + ○国語(近代以降の文章)学科試験 (マークセンス方式、60分)100点 + ○資格点30点 ※日商簿記1級・応用情報技術者試験・ 全経簿記能力検定上級:30点 基本情報技術者試験:15点 + ○面接(グループ) 可または不可の評価です。 上記による総合判定(180点満点)

前年度 入試結果

学部・学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率(受験者/合格者)
経済学部 経済学科	5	24	24	15	1.6
経営学部 経営学科	12	43	42	21	2.0
経営学部 会計ファイナンス学科	27	46	46	27	1.7

特別入試

短期大学部キャリアデザイン特別入試

併願制

社会貢献への高い意欲、旺盛なキャリア意識のある現役生を対象。

入学検定料 35,000円

入試要項

学部・学科	募集定員	出願期間	試験日	試験場	合格発表日
短期大学部 ライフデザイン総合学科	5	2017年 9月12日(火) 9月29日(金) <必着>	10月15日(日)	豊橋 【本学】	10月28日(土)

出願資格・ 選考方法

出願資格	選考方法・配点
次の①~③を満たすこと。 ①2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みの者(女子) ②高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が3.0以上 ③これまでの経験や将来への希望、意欲をアピールできる者 ※本学他学部、他大学との併願が可能です。	○調査書(評定平均値)25点 全体の評定平均値を5倍した数値を加点とします。 + ○小論文50点 + ○面接・志望理由書25点 上記による総合判定(100点満点)

前年度 入試結果

学部・学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率(受験者/合格者)
短期大学部 ライフデザイン総合学科	5	7	7	6	1.2

スポーツ特別入試

専願制

スポーツの分野で優れた成績を収めた現役生を対象とする専願制の入試。

入学検定料 35,000円

入試要項

学部・学科・コース	募集定員	出願期間	試験日	試験場	合格発表日
法学部 法学科	5	2017年 9月12日(火) 9月29日(金) <必着>	10月15日(日)	名古屋 【本学】	10月28日(土)
経済学部 経済学科	5				
経営学部 経営学科	8				
経営学部 会計ファイナンス学科	3				
現代中国学部 現代中国学科	4				
国際コミュニケーション学部 英語学科	2				
国際コミュニケーション学部 国際教養学科	3				
文学部 心理学*	7**				
文学部 人文社会学科	7**				
地域政策学部 地域政策学科	10			豊橋 【本学】	
公共政策コース	3				
地域産業コース	3				
まちづくりコース	2				
地域文化コース	2				
健康・スポーツコース	10				

★詳しくはP.22をご覧ください。スポーツ特別入試入学者は、所属専攻決定前の1年次の所属は、便宜上、人文社会科学科になります。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。 ※1 2018年4月、新設(設置構想中)。 ※2 心理学及び人文社会科学科を合算した募集定員となります。 ※地域政策学部 食農環境コースは募集しません。

出願資格・ 選考方法・ 配点

出願資格	選考方法・配点
次の①~⑥を満たすこと。 ①2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みで、出身学校長の推薦が受けられる者 ②本学専願者(本学を第1志望とし、合格者は必ず入学すること) ③高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が3.3以上の者 ④全国規模または高校生対象の都道府県レベル以上の大会において優れた成績をおさめた者(概ねベスト8以上) ⑤入学後、当該スポーツ活動を4年間継続する意志が堅固である者 ⑥本学開催の「クラブの紹介・相談会」へ参加した者 ※「クラブの紹介・相談会」の目的・内容について クラブ及び競技種目についての指導体制、練習環境・施設、活動方針等の情報を受験生に提供すると共に、合同練習等を行うことにより、出願時に提出する競技成績の記録など競技能力に関する書類を評価する際の参考とするものです。	○調査書(評定平均値)50点 全体の評定平均値を10倍した数値を加点とします。 + ○競技能力書類350点 + ○小論文100点 + ○面接(グループ) 可または不可の評価です。 上記による総合判定(500点満点)

前年度 入試結果

学部・学科・コース	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率(受験者/合格者)
法学部 法学科	5	3	3	3	1.0
経済学部 経済学科	5	5	5	5	1.0
経営学部 経営学科	8	7	7	7	1.0
経営学部 会計ファイナンス学科	3	3	3	3	1.0
現代中国学部 現代中国学科	4	3	3	3	1.0
国際コミュニケーション学部 英語学科	2	1	1	1	1.0
国際コミュニケーション学部 比較文化学科*	3	1	1	1	1.0
文学部 人文社会学科	7	4	4	4	1.0
地域政策学部 地域政策学科	10	10	10	10	1.0
公共政策コース	3	3	3	3	1.0
地域産業コース	3	3	3	3	1.0
まちづくりコース	2	2	2	2	1.0
地域文化コース	2	2	2	2	1.0
健康・スポーツコース	10	10	10	10	1.0
合計	57	47	47	47	—

※2018年4月より国際教養学科へ名称変更。

2018年度 競技種目・ 募集学部一覧

名古屋キャンパス	柔道部	ゴルフ部	女子バドミントン部	空手道部	剣道部	準硬式野球部	少林寺拳法部	中国武術部	バドミントン部	卓球部	男子バドミントン部	豊橋キャンパス	弓道部	硬式野球部	男子バレーボール部	男子ハンドボール部	硬式庭球部
	法学部 法学科	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	文学部	○			
経済学部 経済学科	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	地域政策学部 公共政策コース		○	○	○	○
経営学部 経営学科	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	地域政策学部 地域産業コース		○	○	○	○
経営学部 会計ファイナンス学科	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	地域政策学部 まちづくりコース		○	○	○	○
現代中国学部 現代中国学科												地域政策学部 地域文化コース		○	○	○	○
国際コミュニケーション学部 英語学科				○	○							健康・スポーツコース		○	○	○	○
国際コミュニケーション学部 国際教養学科				○	○							男	○	○	○	○	○
男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	女	○	○	○	○	○
女	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						

現代中国学部グローバル人材特別入試 専願制

中国、台湾、マレーシア等グローバルアジアへの強い興味関心、留学経験、高校での活動をアピールする専願制の入試。現代中国学部で実施します。

入学検定料 35,000円

入試要項

学部・学科	募集定員	出願期間	試験日	試験場	合格発表日
現代中国学部 現代中国学科	20	2017年 9月12日(火)～9月29日(金) <必着>	10月15日(日)	名古屋 【本学】	10月28日(土)

出願資格・ 選考方法・ 配点

出願資格	選考方法・配点
次の①～⑤を満たすこと。 ①2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校を卒業見込みの者、または2017年4月以降に卒業した者 ②本学専願者(本学を第1志望とし、合格者は必ず入学すること) ③高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が3.0以上 ④次の(1)～(3)のいずれかに該当する者 (1)下記のa～hのいずれかに該当し、証明書によりスコア・級等を証明できる者 a. 中国語検定試験 4級以上合格者 b. HSK(漢語水平考試) 3級以上合格者 c. 実用英語技能検定 準2級以上合格者 d. TOEFL-iBT® 32点以上取得者 e. 全国商業高等学校協会英語検定 2級以上合格者 f. 国際連合公用語英語検定 C級以上合格者 g. TOEIC® 350点以上取得者 h. その他、上記以外の何らかの資格を有していること (2)長・短期の留学経験や在外経験(海外旅行は除く)がある者 (3)高等(中等教育)学校在学中ならびにそれに相当する期間における自己アピールできる活動分野(生徒会活動、文化活動、ボランティア活動、指導性等)がある者 ⑤中国、台湾等アジアに対する強い勉強意欲と関心があり、入学後は現代中国学部が実施する現地主義教育に積極的に参加できる者	○志望理由書・調査書(評定平均値) 100点(※1) + ○資格・活動実績50点 + ○模擬講義レポート100点 + ○面接(個人)50点 上記による総合判定(300点満点)

(※1) 志望理由書50点、調査書(評定平均値)50点の配点となります。調査書(評定平均値)は全体の評定平均値を10倍した数値を得点とします。

前年度 入試結果

学部・学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率(受験者/合格者)
現代中国学部 現代中国学科	15	55	51	36	1.4

現地主義 教育

グローバルアジアを体験し、たくましい国際人を育てる。

現代中国学部では、知識・教養としての中国語・中国理解を身につけるとともに、現実の国際ビジネスや文化交流の場面で先導的な役割を果たし、日本と中国とのよりよい関係を築くことのできる、力ある国際人の育成をめざします。このため「現地プログラム」を2年次の必修プログラムとして、また、「現地研究調査」「現地インターンシップ」を3年次の正課科目に加え、現地での体験を基盤に据えた実践的な教育を行っています。5年間で2大学(本学と留学先大学)の学位取得ができるダブルディグリー・プログラムもあります。

4ヵ月間の全員留学※ 現地プログラム

現代中国学部の最大の特徴といえるのが、この「現地プログラム」。2年次春学期に全員が4ヵ月間留学します。2015年度から従来の実施拠点である南開大学(中国・天津市)に加え、国立台湾師範大学(台湾・台北市)と南方大学学院(マレーシア・ジョホールバル)が加わりました。いずれの「現地プログラム」も、授業ではネイティブ教員のもと、中国語運用能力の向上をめざすことはもちろん、京劇、美術、二胡などの中国伝統文化を学びます。

※中国語を母語とする外国人留学生は除く。

1都市を3つの観点で調査して発表 現地研究調査

現地研究調査は、学部開設時から続く現地主義教育の一つで、現代中国学部3年次の希望者から選抜された約30名が、中国の1都市で夏季休暇中の15日間、企業班・都市班・農村班に分かれて現地の大学生と共同研究調査に取り組み、研究成果は中国語で発表を行います。実践の中でフィールドワークの技法を身につけ、現代の中国社会や異文化理解を深化させると同時に、中国語能力とプレゼンテーション能力を磨くことのできるプログラムです。

1年間にわたる長期プログラム 現地インターンシップ

現地インターンシップは現地主義教育の3本柱の一つとして2005年からスタートしました。中国の現地日系企業で中国語を用いて、就業研修を行うものです。本プログラムは夏季休暇中の約2週間と、その事前・事後学習を含め、1年間にわたる長期プログラムです。2014年度からはPBL(課題解決型学習)の要素を取り入れました。取り組みを通じ、学生は自身の将来に必要な能力とは何かに気づき、広くアジアで活躍できる人材へ成長していきます。

各プログラムには参加条件があります。

国際コミュニケーション学部英語学科特別入試 専願制

英語4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)の向上に積極的に取り組み、国際社会での活躍をめざす現役生を対象とする専願制の入試。国際コミュニケーション学部英語学科で実施します。

入学検定料 35,000円

入試要項

学部・学科	募集定員	出願期間	試験日	試験場	合格発表日
国際コミュニケーション学部 英語学科	5	2017年 9月12日(火)～9月29日(金) <必着>	10月15日(日)	名古屋 【本学】	10月28日(土)

出願資格・ 選考方法・ 配点

出願資格	選考方法・配点
次の①～④を満たすこと。 ①2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みの者 ②本学専願者(本学を第1志望とし、合格者は必ず入学すること) ③高等(中等教育)学校の全体の評定平均値が3.5以上の者 ④次のa～gのいずれかに該当し、証明書によりスコア・級等を証明できる者(ただしTOEIC-IP及びGTEC for STUDENTSは除く) a. 実用英語技能検定 2級以上合格者 b. 国際連合公用語英語検定 B級以上合格者 c. TOEFL-iBT® 48点以上取得者 d. TOEIC® 550点以上取得者 e. TOEIC® + TOEIC® S&W 790点以上取得者 f. TEAP 260点以上取得者 g. IELTS™ 4.0以上取得者 ※TEAPは4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)で受験することが必要です。 ※出願時に期限が有効なスコア等を提出した者のみ対象です。	○調査書(評定平均値) 50点(※1) + ○資格点50点【別表】 (複数のスコア・級がある場合には上級のものを採用) + ○英語によるエッセイの作成 100点(※2) + ○面接(個人・Speaking) 50点(※3) 上記による総合判定(250点満点)

(※1) 調査書(評定平均値)は全体の評定平均値を10倍した数値を得点とします。

(※2) 英文を読み、設問について500～600語の英文エッセイ作成。

(※3) 簡単な日常会話と英文エッセイで用いた問題文の内容について英語で質疑応答。

【別表】

資格点	英語能力試験	実用英語技能検定	国際連合公用語英語検定	TOEFL-iBT®	TOEIC®	TOEIC®+TOEIC® S&W	TEAP	IELTS™
10点		2級	B級	48-71	550-780	790-1090	260-333	4.0-5.0
30点		準1級	A級	72-94	785-940	1095-1300	334-399	5.5-6.5
50点		1級	特A級	95以上	945以上	1305以上	400以上	7.0以上

国際共通語“英語”の実践力を高め、国際社会へ。

英語学科では、国際共通語である英語について「聞く・話す・読む・書く」力を段階的に伸ばし、総合的な英語運用能力を身につけることを第一にめざします。その上で英語圏の文化・社会・思想などについても英語を用いて理解を深め、国際社会において世界の人々と対等に渡り合えるコミュニケーション能力の修得をめざしています。

◆2年次から選択できる3つの専門分野

Language Studiesコース 英語コミュニケーション能力 向上をめざすコース

高度な英語運用能力と言語文化に対する深い理解を基礎に、国際社会で対等に渡り合えるコミュニケーション能力を養います。

【履修科目例】
英語学概論、英語の歴史、Mass Media English、English Grammar、English Language and Culture

Businessコース エアライン・国際ビジネスの 分野で活躍をめざすコース

企業の海外事業・国際流通部門、エアライン、旅行、ホテルなどに適応できる、高い語学能力と国際理解力を養います。

【履修科目例】
Business Communication、Business English、Business in Asia、Tourism and Airline Industries、Business Presentation Skills、日英通訳法、日英翻訳法

Educationコース 英語教員をめざすコース

外国語学習の基礎・背景、教授法などを理解し、小・中・高および幼児教育に携わる英語教師をめざす人材を養成します。

【履修科目例】
Second Language Acquisition、English Teaching Methods、イギリス文学講読、アメリカ文学講読、American History、British History

◆英語学科の特長

留学制度を積極的に活用。 集中的に学ぶ「1セメスター認定留学プログラム」

春学期または秋学期の1セメスターで英語を中心に学ぶプログラムで、2016年度は国際コミュニケーション学部からは、17名の学生が参加しました。海外短期語学セミナーよりも長期滞在ができるので、英語コミュニケーション能力を伸ばしたい人に最適です。留学先は、カナダ、アメリカ、イギリス。すべて本学提供のプログラムです。ネイティブスピーカーから英語を学ぶだけでなく、世界各国から集まる留学生たちとの交流から学ぶこともできます。留学先で修得した単位は、本学の卒業に必要な単位として認定しますので、4年間で卒業も可能です。

交換・認定留学	交換留学(海外協定校を中心とした世界21大学)(半年～1年)
	認定留学(半年～2年)※修業年限に算入する留学期間は、1年を限度とする。 本人の希望する大学(本学協定校含む)への留学
	1セメスター認定留学プログラム ・クイーンズ大学QSoE(カナダ) ・サウスイーストミズーリ州立大学(アメリカ) ・ニューカッスル大学(イギリス) ・クイーンズ大学BISC(イギリス)
短期留学	海外短期語学セミナー(約4週間)

海外帰国生選抜入試・短大海外帰国生選抜入試 併願制

海外経験豊かな海外帰国生対象の入試。

入学検定料 35,000円

入試要項

学部・学科・コース	募集定員	出願期間	試験日	試験場	合格発表日
法学部 法学科	各学部 若干名	2017年 9月12日(火) ～ 9月29日(金) <必着>	10月15日(日)	名古屋 【 本学 】	10月28日(土)
経済学部 経済学科					
経営学部 経営学科/会計ファイナンス学科					
現代中国学部 現代中国学科					
国際コミュニケーション学部 英語学科/国際教養学科					
文学部 外国語入試★ 心理学科/人文社会学科				豊橋 【 本学 】	
地域政策学部 公共政策コース/地域産業コース/まちづくりコース 地域文化コース/健康・スポーツコース/食農環境コース					
短期大学部 ライフデザイン総合学科					

★詳しくはP.22をご覧ください。海外帰国生選抜入試入学者は、所属専攻決定前の1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。 ※2018年4月、新設(設置構想中)。

出願資格・選考方法

出願資格

詳細は「2018年度入学試験募集要項」でご確認ください。

選考方法

- 出願書類
- 小論文
- 面接

上記による総合判定

社会人入試・短大社会人入試 併願制

豊かな社会経験を持つ勉学意欲旺盛な方対象の入試。

入学検定料 35,000円

入試要項

学部・学科・コース	募集年次	募集定員	出願期間	試験日	試験場	合格発表日
法学部 法学科	1年次	各学部 若干名	2017年 9月12日(火) ～ 9月29日(金) <必着>	10月15日(日)	名古屋 【 本学 】	10月28日(土)
経済学部 経済学科						
経営学部 経営学科/会計ファイナンス学科						
現代中国学部 現代中国学科						
国際コミュニケーション学部 英語学科/国際教養学科						
文学部 外国語入試★ 心理学科/人文社会学科	豊橋 【 本学 】					
地域政策学部 公共政策コース/地域産業コース/まちづくりコース 地域文化コース/健康・スポーツコース/食農環境コース						
短期大学部 ライフデザイン総合学科						

★詳しくはP.22をご覧ください。社会人入試入学者は、所属専攻決定前の1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。 ※2018年4月、新設(設置構想中)。

出願資格・選考方法

出願資格

2018年4月1日現在で1年次入学は満22才、3年次入学(編入学)は満24才、短期大学部は満20才に達し、就業等の社会経験を有すること。詳細は「2018年度入学試験募集要項」でご確認ください。

選考方法

- 出願書類
- 小論文 ※短大は除く。
- 面接

上記による総合判定

編入学試験 併願制

学部3年次への編入学希望の方対象の入試。

入学検定料 35,000円

入試要項

学部・学科・コース	募集年次	募集定員	出願期間	試験日	試験場	合格発表日
法学部 法学科	3年次	各学部 若干名	2017年 9月12日(火) ～ 9月29日(金) <必着>	10月15日(日)	名古屋 【 本学 】	10月28日(土)
経済学部 経済学科						
経営学部 経営学科/会計ファイナンス学科						
現代中国学部 現代中国学科						
国際コミュニケーション学部 英語学科/国際教養学科						
文学部 人文社会学科					豊橋 【 本学 】	
地域政策学部 公共政策コース/地域産業コース/まちづくりコース 地域文化コース/健康・スポーツコース						

出願資格・選考方法

出願資格

大学・短大・高等専門学校を卒業した者、大学に2年以上在学した者、または専修学校の専門課程を修了(それぞれ見込みを含む)した者を対象とします。詳細は「2018年度入学試験募集要項」でご確認ください。

選考方法

- 出願書類
- 外国語(外国語資格検定試験の成績、ただし外国人留学生は日本語能力試験N1の成績)
- 小論文
- 面接(一部の学部)

上記による総合判定

一般入試・推薦入試について

Q 複数出願できる入試を教えてください。

A 下表の入試種別は、複数出願が可能です。

入試種別	試験日	複数出願について
一般推薦(併願制) 短大一般推薦(併願制)	11月19日(日)	1学部・学科・コースと短期大学部への出願が可能
短大前期入試A	1月29日(月)、30日(火)	2日間とも出願が可能
M方式入試・短大M方式入試	2月2日(金)	一度の試験で全学部・学科・コースへの出願が可能(短期大学部への出願も可能)
前期入試・短大前期入試B	2月5日(月)、6日(火) 7日(水)、8日(木)	1試験日につき短期大学部を含め、1学部・学科・コースへの出願が可能 ※センタープラス方式入試または短大センタープラス方式入試に同日出願可能
センタープラス方式入試 短大センタープラス方式入試		1試験日につき短期大学部を含め、1学部・学科・コースへの出願が可能 ※前期入試または短大前期入試Bに同日出願可能
センター試験利用入試(前期) [5教科型] [3教科型] 短大センター試験利用入試(前期) [2教科型]	独自試験はありません	全学部・学科・コースへの出願が可能(5教科型、3教科型と短大2教科型の併願も可能)
後期入試・短大後期入試	3月9日(金)	一度の試験で全学部・学科・コースへの出願が可能(短期大学部への出願も可能)
センター試験利用入試(後期) 短大センター試験利用入試(後期)	独自試験はありません	全学部・学科・コースへの出願が可能(短期大学部への出願も可能)

Q 入試種別が多くてどの入試を受ければよいか分からないのですが…

A 愛知大学のメイン入試は募集定員が最大である前期入試です。複数日の出願により、入学検定料割引制度が適用されます。試験日が4日間から選択できる前期入試を中心に、出願検討することをおすすめします。前期入試の出願時はセンタープラス方式入試への同日出願も可能で、併願出願による入学検定料割引制度も適用されます。

Q 選択科目は出願時に選択するのですか？

A 入試種別ごとに以下の通りです。また、出願登録確定後の科目変更は認められませんので、出願時には十分注意して選択してください。

○前期入試、M方式入試、後期入試

出願時に「日本史」「世界史」「数学」「地理※」「倫理、政治・経済※」の中から1科目を選択します。

※「地理」はM方式入試、前期入試(2月5日(月))、後期入試のみ実施。「倫理、政治・経済」はM方式入試、前期入試(2月5日(月))のみ実施。

○センタープラス方式入試・短大センタープラス方式入試

独自試験は、出願時に「外国語」「国語」「数学」の中から1科目を選択します(国際コミュニケーション学部のみ「外国語」必須)。センター試験の選択科目は、各学部・学科・コースの定めにより採用します。所定の科目数を超えて受験した場合、高得点科目から順に自動的に採用します。ただし、「地理歴史・公民」「理科(基礎を付していない2科目受験の場合)」は、第1解答科目の得点を採用します。

○センター試験利用入試(前期)(後期) 短大センター試験利用入試(前期)(後期)

センター試験の選択科目は、各学部・学科・コースの定めにより採用します。所定の科目数を超えて受験した場合、高得点科目から順に自動的に採用します。ただし、「地理歴史・公民」「理科(基礎を付していない2科目受験の場合)」は、第1解答科目の得点を採用します。

○短大後期入試

出願時に「英語」「国語」「日本史」「世界史」「地理」「数学」から1科目を選択します。

Q 選択科目・試験日によって有利・不利はありますか？

A 各科目間・日程間において、本学の基準にて得点調整を行います。選択科目・試験日による有利・不利はありませんので、力を発揮できる科目・日程で受験してください。

Q 入試での特別な配慮について教えてください。

A 障がい等により、受験・修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、入試課へお問い合わせください。申請手続きをご説明し必要書類をお送りします。本学の入学試験における特別措置は、原則として大学入試センター試験での措置内容に準じ、可能な限り対応します。また、出願後の不慮の事故等により、受験時に特別な配慮を必要とする場合も速やかに入試課へお問い合わせください。

文学部「学科・コース別入試」「学部全体入試」について

Q 文学部の入試制度と所属学科・コース・専攻の決定との関係はどうなりますか？

A 文学部には、学科・コースを決めて受験する「学科・コース別入試」と、学科・コースを決めずに受験する「学部全体入試」があります。「学科・コース別入試」での入学者は、入学時に所属学科・コースが決まっています。所属する専攻の決定は、1年次に所定の単位を修得した場合に本人の希望する学科・コース内で選択できます。「学部全体入試」による入学者は、本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります(1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります)。

入試種別	学科・コース別入試	学部全体入試
前期入試	○	
センタープラス方式入試	○	
センター試験利用入試(前期)	○	
M方式入試		○
後期入試		○
センター試験利用入試(後期)		○
推薦入試・特別入試(編入学試験を除く)		○

資格課程

卒業に必要な授業科目を履修し必要単位を修得することのほかに、それぞれの課程に定められた諸科目の単位を修得すれば、下記の資格を修得できます。学部・学科によって取得できる資格が異なりますので、出願時にご確認ください。

資格・免許	対応学部	備考
教員	全学部	詳細は下記の教員免許状一覧をご確認ください
司書・司書教諭	全学部・短大(司書のみ)	豊橋キャンパスにて開講
博物館学芸員	全学部	必修科目は豊橋キャンパスにて開講(選択科目の一部を除く)
社会教育主事	全学部	必修科目は豊橋キャンパスにて開講(選択科目の一部を除く)
社会調査士	文学部(社会学専攻)	
認定心理士	文学部(心理学専攻)	

教員免許状一覧

中学校教諭1種免許状・高等学校教諭1種免許状が取得可能な学部・学科

学部・学科	中学校教諭1種免許状	高等学校教諭1種免許状
法学部	法学科	社会
経済学部	経済学科	社会
経営学部	経営学科	社会
	会計ファイナンス学科	—
現代中国学部	現代中国学科	社会、外国語(中国語)
国際コミュニケーション学部	英語学科	外国語(英語)
	国際教養学科	社会
文学部	人文社会学科	社会、国語、外国語(英語)
地域政策学部	地域政策学科	社会

小学校教諭1種免許状

佛教大学通信教育課程との提携協定に基づき、愛知大学に在学しながら佛教大学特別科目等履修生として所要の単位を修得し、卒業時に小学校教諭1種免許状を取得できます。(別途学費が必要)

奨学金制度

愛知大学スカラシップ(給付)

採用数108名以内 入学後の成績により2年次以降も継続給付

給付・貸与	給付
金額	授業料及び教育充実費の年額相当額
通知・給付時期	対象者へ合格発表時に通知・給付時期は7月 在学中(2年次以降も入学後の成績により、継続給付)
概要	前期入試及びセンター試験利用入試(前期)5教科型の成績上位者に対して、1年次の授業料及び教育充実費の年額相当額を給付する制度です。
目的	本学の建学の精神を具現すべく、我が国、地域社会の未来を担う将来を地方創生のために切望する若人(2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みの者)が広く高等教育を学ぶ機会を確保し、その才能を十分発揮されるよう修学を奨励することを目的としています。
対象	2018年3月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みの者で、前期入試及びセンター試験利用入試(前期)5教科型の成績上位者

○前期入試

学部	採用人数	採用得点(2017年度実績)
法学部	11名	263点以上
経済学部	11名	260点以上
経営学部	11名	252点以上
現代中国学部	8名	241点以上
国際コミュニケーション学部	8名	256点以上
文学部	11名	262点以上
地域政策学部	8名	255点以上
合計	68名	—

○センター試験利用入試(前期)5教科型

対象	採用人数	基準得点率(2017年度実績)
成績上位者(各学部最低2名を含む)	40名	83.5%以上

国家・地方上級公務員、教員をめざす方へ 愛知大学スカラシップ生公務員・教員志願者奨学制度

給付・貸与	給付(講座受講料の無料化)	概要	愛知大学スカラシップ生の中で、卒業後国家公務員・地方上級公務員、もしくは公立学校教員をめざす学生に対して、対象の講座を無料で提供します。(テキスト代は実費)
金額	対象講座の受講料相当額(現金の給付等はなし)	対象	〈名古屋キャンパス〉2年次「行政書士講座」、3年次「公務員講座(総合コース)」もしくは「教員講座」 〈豊橋キャンパス〉2年次「行政書士講座」、3年次「公務員講座(総合コース)」もしくは「教員講座」 ※不開講の場合、「宅地建物取引士講座」に変更になることがあります。
申請	対象講座受講時		

入試前予約採用給付奨学金「知を愛する奨学金」(給付)

本学への入学を希望する東海四県(愛知、岐阜、三重、静岡県)以外の国内高等(中等教育)学校出身者を対象とする奨学金です。一般入試(前期日程)出願前に申請いただき、一般入試(前期日程)受験前に採用候補者を決定します。採用候補者数50名以内・奨学生数5名以内となります。年額50万円、4年間の継続で総額200万円給付します。【申請期間:2017年10月10日(火)~2018年1月5日(金)消印有効】

学業奨励金(給付)

2年次以上の学生を対象に、前年度に修得した科目の単位数及び成績に基づき審査を行い、学業成績が特に優れた学生に授業料の半額相当額を給付する制度です。採用人数は74名です。

入学手続／学納金等

入学手続の流れ(2018年度予定)

	合格発表日	第一次入学手続期限 (入学金の納入)	第二次入学手続期限 (授業料等の納入、入学手続書類提出)
特別入試	現代中国学部グローバル人材特別入試 国際コミュニケーション学部英語学科特別入試 スポーツ特別入試 短期大学部キャリアデザイン特別入試	10月28日(土)	11月6日(月) 延期不可
	一般推薦(専願制)(学部・短大) 一般推薦(併願制)(学部・短大) 情報・簿記会計推薦	12月2日(土)	12月8日(金) 延期不可
	短大前期入試A 前期入試・短大前期入試B M方式入試・短大M方式入試	2月5日(月)	2月9日(金) 延期不可
推薦入試	センタープラス方式入試 短大センタープラス方式入試	2月20日(火)	2月26日(月) 延期不可
	センター試験利用入試(前期) 短大センター試験利用入試(前期)		
一般入試	後期入試・短大後期入試	3月17日(土)	第一次・第二次入学手続 一括手続 延期不可 3月24日(土)必着 [持参受付:3月24日(土)]
	センター試験利用入試(後期) 短大センター試験利用入試(後期)		

※入学手続の日程は変更となる場合があります。必ず「2018年度入学試験募集要項」及び「入学手続書類」をご確認ください。

学納金等

◆2018年度学納金

学部	納入時期	学納金			小計	初年度合計
		入学金	授業料	教育充実費		
法学部 経済学部 経営学部	入学時	200,000	360,000	145,000	705,000	1,210,000
	秋学期	—	360,000	145,000	505,000	
現代中国学部 国際コミュニケーション学部	入学時	200,000	390,000	145,000	735,000	1,270,000
	秋学期	—	390,000	145,000	535,000	
文学部	入学時	200,000	370,000	100,000	670,000	1,140,000
	秋学期	—	370,000	100,000	470,000	
地域政策学部	入学時	200,000	360,000	100,000	660,000	1,120,000
	秋学期	—	360,000	100,000	460,000	
短期大学部	入学時	200,000	355,000	105,000	660,000	1,120,000
	秋学期	—	355,000	105,000	460,000	

※授業料は2年次以降10,000円ずつ増額となります。

※学納金等は変更となる場合があります。必ず「入学手続書類」をご確認ください。

※入学金は初年度(入学年度)のみ徴収します。2年次以降は授業料と教育充実費を徴収します。また、本学の事情によって入学後の学納金等を改定する場合があります。

○実習費(予定)

下記の学部については、学納金の他に実習費が必要となります。

学部・専攻	種別	金額	納入時期
現代中国学部	実習費	280,000	2年次
心理学	実験実習費	50,000	2年次以降毎年
文学部	人文社会学科 東アジア文化専攻 哲学専攻 図書館情報学専攻 メディア芸術専攻	表現実習費	10,000
	メディア芸術専攻	実験実習費	60,000
	社会学専攻	調査実習費	30,000
	地理学専攻	調査実習費	10,000
			2年次以降毎年 3年次 2年次

※金額は変更となる場合があります。必ず「入学手続書類」をご確認ください。

○委託徴収金(予定)

委託徴収金は本学が関係諸団体から依頼を受け徴収するものです。

種別	学部	学納金		
		法学部 経済学部 経営学部 現代中国学部 国際コミュニケーション学部	文学部 地域政策学部	短期大学部
学生会費	年額: 毎年度春学期納入時	—	7,000	2,500
後援会費	修業年限分: 入学手続時1回のみ	28,000	28,000	14,000
同窓会費	4年次秋学期1回のみ (短期大学部は2年次秋学期)	28,000	28,000	28,000

※金額は変更となる場合があります。必ず「入学手続書類」をご確認ください。

イベントスケジュール

オープンキャンパス

7/16 (日) 豊橋キャンパス
10:00～15:00

8/ 2 (水)・**3** (木) 名古屋キャンパス
10:00～15:00

9/24 (日) 名古屋キャンパス
豊橋キャンパス
10:00～15:00

学部説明会・模擬授業など

入試説明会(一般入試・推薦入試)

2018年度入試の概要や対策のポイントを解説

キャンパスツアー

在学生によるキャンパス紹介を随時実施

過去問題集プレゼント

2017年度一般入試・推薦入試の問題と河合塾による解答例を掲載

※このほか、進学相談会・在学生によるキャンパスライフ紹介などの企画も行います。
詳細は、ホームページで随時公開します。

国立12大学・東海地区主要大学合同進学説明会

6/18 (日) 名古屋キャンパス
11:00～16:00(開場10:30)

参加大学の個別相談や学問分野別基調講演を開催します。

○参加大学

国立12大学：愛知教育大学、金沢大学、岐阜大学、静岡大学、信州大学、
富山大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学、
名古屋工業大学、浜松医科大学、福井大学、三重大学

公立大学：愛知県立大学、名古屋市立大学

私立大学：愛知大学、中京大学、豊田工業大学、南山大学、名城大学

(50音順)

大学展・進学相談会スケジュール

開催地	日程	時間	会場	
愛知	名古屋	5月27日(土)	10:30～17:00	ウイंकあいち 大学展
		5月28日(日)	10:00～16:00	ウイंकあいち 大学展
		6月15日(木)	15:30～18:30	ウイंकあいち
		7月16日(日)	11:00～16:00	名古屋国際会議場
	豊橋	8月30日(水)	13:00～19:00	名古屋市中小企業振興会館 第17アクション展示場 大学展
		8月31日(木)	13:00～19:00	名古屋市中小企業振興会館 第17アクション展示場 大学展
		6月11日(日)	10:00～16:00	穂の国とよはし芸術劇場 大学展
		9月18日(月・祝)	10:00～16:00	穂の国とよはし芸術劇場 大学展
岐阜	岐阜	5月14日(日)	10:00～16:00	じゅうろくプラザ 大学展
		8月27日(日)	10:00～16:00	じゅうろくプラザ 大学展
静岡	静岡	5月21日(日)	11:00～16:00	ツインメッセ静岡 大学展
	浜松	6月 4日(日)	10:00～16:00	アクトシティ浜松 大学展
		9月 3日(日)	10:00～16:00	アクトシティ浜松 大学展
三重	四日市	6月18日(日)	10:00～16:00	じばさん三重 大学展
		9月10日(日)	10:00～16:00	じばさん三重 大学展
富山	富山	6月 9日(金)	15:30～19:00	オークスカナルパークホテル富山
		9月19日(火)	15:30～19:00	ANAクラウンプラザホテル富山
石川	金沢	6月 7日(水)	15:30～19:00	金沢駅もてなしドーム
		9月20日(水)	15:30～19:00	金沢駅もてなしドーム
長野	長野	6月 3日(土)	10:00～16:00	長野市生涯学習センター
	松本	6月 4日(日)	10:00～16:00	松本大学予備校本校校舎
9月 5日(火)		15:00～18:30	ホテルブエナビスタ	

※日程・時間・会場は変更されることがあります。

大学展 愛知県私立大学広報委員会「中部の私立大学展」



愛知大学
AICHI UNIVERSITY

Imparting Wisdom for a Globalized World.

入試課

〒461-8641 名古屋市東区筒井二丁目10-31

TEL:052-937-8112・8113(直通)(平日9:00～17:00)

